

## 平成26年度 中学校理科研修講座（体験活動）報告

### ◆研修講座の様子



#### 【講義】1日目

- 「科学的な体験、自然体験の充実を図るために」



#### 【講義・実習】1日目

- 「体験活動における安全管理と事故防止」
- 理科薬品の取扱いと事故防止
- 安全な野外観察を行うために



#### 【実習】1日目

- 「地学領域における野外観察」
- 野外における地層や岩石の観察
- 自然情報を読み取り考察させる方法 など



#### 【実習】2日目

- 「体験活動を支援するICTの活用法」
- 体験活動におけるICTの効果的な活用法
- ICTを活用した自然現象を視覚化する方法 など



#### 【実習】2日目

- 「生物領域における野外観察」
- 身近な自然の中での、動植物の観察
- 野外における生物調査の方法 など

### ◆受講者の声

- 1日目の講義「科学的な体験、自然体験の充実を図るために」を聴いて、実践的な内容ですぐに授業で活用できそうだったと思った。生徒の「不思議」を生かした課題設定が行われた良い例を見ることができて勉強になった。また、ビデオでの授業の取組や今後力を入れるべきことについての説明があり、分かりやすかった。
- 1日目の講義・実習「体験活動における安全管理と事故防止」では、毒物、劇物の違いが分かりやすかった。硫化鉄をはじめとする金属の処分方法や水道の蛇口にホースがついている理由など今まで知らなかったこともあり、とても参考になった。また、自然を相手とする野外活動では、何が起こるか分からないため、下見をしてさまざまなことを想定して計画を立てる必要があるということがわかった。
- 1日目の実習「地学領域における野外観察」では、実際に現地に行くことによって、観察の対象とする事物だけではなく、周りも視界に入れながら学習できることが分かった。また、実際に見て、触れることにより初めて岩石の違いを感じることができ分かった。
- 2日目の実習「体験活動を支援するICTの活用法（物理）」では、ストロボを使うアプリケーションに驚いた。帰校後すぐに実践したいと思う。
- 2日目の実習「体験活動を支援するICTの活用法（生物）」では、実習中の作業を、スクリーンを通して生徒に見せるために、特別な装置を使わなくても、ウェブカメラで代用できるという点が参考になった。
- 2日目の実習「生物領域における野外観察」では、アニメのキャラクターや野球選手など気になるキーワードを見て外に行きたくなった。足跡の教材は、冬に作って生徒と外へ行ってみたいと思った
- 講座全体を通して、生徒と同じように実験・観察を行い、本当に理科は楽しいと再確認できた。この楽しさを伝えられるよう日々の実践を工夫していきたいと思った。来年度以降も時間を作って参加したい。